

麻しんワクチンの予防接種を受けられる方へ

<ワクチンの効果と副反応>

麻しんワクチンの免疫獲得率は高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上の方が免疫を獲得できるといわれています。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況やその後の周りでの流行の程度によって異なります。

副反応としては、ワクチンの接種直後から翌日に発疹、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱などがみられることがあります。全身症状として、接種5～14日後に1～3日間のだるさ、不機嫌、発熱、発疹などがみられることがありますが、通常1～3日で消失します。また、局所症状として接種部位に発赤、腫脹、硬結、疼痛などがみられることがありますが、非常にまれですが、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎（発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）、脳炎・脳症、発熱を伴うけいれんがみられることがあります。

<予防接種を受けるときの注意>

- ① 麻しんワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前にお医者さんに相談しましょう。
- ② 受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- ③ 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ④ 清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤ 予診票はお医者さんへの大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
- ⑥ 予防接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持っていきましょう。
- ⑦ 予防接種を受ける方がご婦人の場合、あらかじめ約1カ月間は避妊しておきましょう。

<予防接種を受けることができない人>

- ① 明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 過去に麻しんワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前にお医者さんへその旨を伝え、判断を仰いでください）
- ④ 妊娠していることが明らかな人
- ⑤ お医者さんより免疫不全などの診断を受けた人または免疫抑制を起こす治療を受けている人
- ⑥ その他、お医者さんが予防接種を受けることが不適当と判断した人

<予防接種を受ける際に、お医者さんとよく相談しなくてはならない人>

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
- ② 発育が遅く、お医者さんや保健師さんの指導を継続して受けている人
- ③ カゼなどのひきはじめと思われる人
- ④ 前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ⑤ 薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦ 過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑧ 麻しんワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ⑨ 家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人
- ⑩ 妊娠の可能性のある人

<予防接種を受けたあとの注意>

- ① 接種後30分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあればお医者さんとすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 接種後2～3週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- ④ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤ 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかにお医者さんの診察を受けてください。

| あなたの接種予定日 | 医療機関名 |
|------------------------------------|-------|
| 月 日()です 当日は受付に 時 分頃おこしてください | |

【参考】

任意接種における救済制度について（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づく救済）

医薬品副作用被害救済制度

予防接種法の定期接種によらない任意の接種によって健康被害（医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院が必要な程度の疾病や障害など）が生じた場合は、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法による被害救済の対象となります。健康被害の内容、程度等に応じて、薬事・食品衛生審議会（副作用被害判定部会）での審議を経た後、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金、遺族一時金などが支給されます。

生物由来製品感染等被害救済制度

生物由来製品感染等被害救済制度により、生物由来製品を適正に使用したにもかかわらず、その製品を介して感染等にかかり、健康被害（入院が必要な程度の疾病や障害など）が生じた場合の救済も行われることになりました（平成16年4月1日以降に使用された生物由来製品によって生じた感染被害が対象）。

問い合わせ先は下記のとおりです。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
電話：0120-149-931（フリーダイヤル）
URL：<http://www.pmda.go.jp>

麻しんワクチン予防接種 予診票

任意接種用

※接種希望の方は、太枠内をご記入ください。

| | | | | |
|--------------|-----------|----------|---------------------------------|---|
| 診察前の体温 | | 度 | | 分 |
| 住 所 | TEL () - | | | |
| フリガナ | | | | |
| 予防接種を受ける人の氏名 | 男 女 | 生年 月日 | 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 (歳 力月) | |
| (保護者の氏名) | | | | |

| 質問事項 | 回答欄 | | 医師記入欄 |
|--|--------------------------------|-----|-------|
| 1. 今日受けられる予防接種について説明文を読んで理解しましたか | はい | いいえ | |
| 2. 今までに麻しんワクチン、風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチンのいずれかの予防接種を受けたことがありますか | ある (ワクチン) | ない | |
| 3. 【予防接種を受けられる方がお子さんの場合】 分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか | ある(具体的に) | ない | |
| 4. 今日、普段と違って具合の悪いところがありますか | ある(具体的に) | ない | |
| 5. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか | はい(病名) | いいえ | |
| 6. 最近1カ月以内に何か病気にかかりましたか | はい(病名) | いいえ | |
| 7. 最近1カ月以内に近親者や周囲に麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜなどにかかった方がいますか | いる(病名) | いない | |
| 8. 最近1カ月以内に予防接種を受けましたか | はい(予防接種名) | いいえ | |
| 9. 今までに予防接種を受けて、具合が悪くなったことがありますか | ある(具体的に) | ない | |
| 10. 今までに特別な病気(先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、免疫不全症、悪性腫瘍、その他の病気)にかかり、医師の診断を受けたことがありますか | ある(具体的に) | ない | |
| (“ある”の場合) その病気を診てもらっている医師に、今日の予防接種を受けて良いといわれましたか | はい | いいえ | |
| 11. 今までにひきつけ(けいれん)を起こしたことがありますか | ある (ころ 回くらい 最後は 年 月ころ) | ない | |
| (“ある”の場合) ひきつけ(けいれん)を起こしたとき、熱は出ましたか | はい()℃ | いいえ | |
| 12. 薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか | ある(薬、食品名) | ない | |
| 13. 近親者に予防接種を受けて、具合が悪くなった方はいますか | いる(予防接種名) | いない | |
| 14. 近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか | いる | いない | |
| ※ 15. 最近6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの投与を受けましたか | はい | いいえ | |
| 16. 【ご婦人の方に】現在、妊娠していますか | はい | いいえ | |
| 17. その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことがあれば具体的に記入ください(投薬状況など) | | | |

医師の記入欄：以上の問診および診察の結果、今日の予防接種は(可能 ・ 見合わせる)

保護者に対して、予防接種の効果、副反応および医薬品副作用被害救済制度について、説明した 医師の署名

| | |
|--|---------------|
| 予診の結果を聞いて、今日の予防接種を受けますか (受けます ・ 見合わせます) | 署名(本人もしくは保護者) |
|--|---------------|

| 使用ワクチン名 | 接種量 | 実施場所・医師名・接種日時 |
|--------------|--------|----------------------------------|
| 乾燥弱毒生麻しんワクチン | (皮下接種) | 実施場所 雪月花メディカルクリニック 秋葉原診療所 |
| Lot No. | mL | 医師名 |
| | | 接種日時 平成 年 月 日 時 分 |

※(注) ガンマグロブリンは血液製剤の一種で、A型肝炎など感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで投与されることがあります。この注射を3~6カ月以内に受けた方は、生ワクチンの予防接種の効果が十分に出ないことがあります。